

第6学年 音楽科学習指導略案

平成20年6月10日(火)

3校時：6年1組

4校時：6年2組

場 所：音楽室

指導者：斎藤 聡

1. 題材名 ふしの重なり合いを味わおう(教材名「ラバースコンチェルト」)

2. 題材の目標

- ・音が重なり合う響きを味わって、表情豊かに演奏することができるようにする。
- ・重なり合う各々の旋律の特徴を感じ取って、演奏の仕方を工夫することができるようにする。

3. 本時の学習(3/7)

(1) ねらい

グループごとに楽器を選び、強弱や音色に気をつけながら演奏することができる。

(2) 本時の展開

主な学習活動	学習形態	教師のかかわり	評価の観点と方法
1 ウォーミングアップ ・ソアーベ体操 ・発声こんにちは ・ハへホ歌い	一斉	教師も一緒に楽しみながら、できるだけ多くの子どもをほめ、本時の活動への意欲を高める。	
2 本時の学習のめあてを確認し、練習前の発表をする。 ・グループごとに練習のめあてを言って発表する。	一斉	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 強弱や音色に気をつけながら演奏しよう </div>	
3 グループ練習をする。 ・自分たちで組み立てたパーツに沿って練習する。	個 パート グループ	自分たちで考えた工夫を生かすことができるように助言する。	強弱や音色に気をつけながら演奏している。 ・演奏の聴取
4 グループ発表をする。 ・グループごとに発表をして、互いに聴き合う。 ・友だちの表現を聴き、気づいたことを発表する。	一斉	聴き方7パターンからポイントを絞って聴いてみるよう助言する。 個々のがんばりを認めたり、アドバイスをわかりやすく補足したりして、ふりかえりにつなげるようにする	
5 次時のめあてを考える。 ・グループで話し合いをしながらめあてを考える。	グループ 一斉	次時の活動につながるめあてを考えることができるようにする。	

「ふしの重なり合いを味わおう」

___月___日(___)

6年___組___番(名前)_____

めあて

楽器のひびき合いを味わいながら 合奏しよう 「ラバースコンチェルト」

曲について理解しよう。

曲を聴いた感想を書こう。(感想・気づいたこと、思い浮かんだ情景など)

話し合いをしてみよう。(演奏の工夫など)

音楽の玉手箱...曲の様子や感じを言葉で表すときのヒントに使ってね!

1. 元気な	8. やさしい	15. おかしい
2. 力強い	9. おちついた	16. はしゃいだ
3. 楽しい	10. 美しい	17. ふわふわした
4. 明るい	11. ゆったりとした	18. 悲しい
5. かがやかしい	12. のどかな	19. さびしい
6. はなやかな	13. おだやかな	20. くらい
7. しあわせな	14. どうどうとした	21. おそろしい

まだまだいろんな言葉で表せるね!

「ふしの重なり合いを味わおう」

___月___日(___)

6年___組___番(名前)_____

めあて

楽器のひびき合いを味わいながら 合奏しよう 「ラバースコンチェルト」

楽器を選んで、演奏の仕方を工夫しよう

	1回目		2回目	
	選んだ楽器	担当	選んだ楽器	担当
リズム ア				
リズム イ				
リズム ウ				

演奏の仕方の工夫(ポイントを箇条書きで)

ふりかえり(演奏の工夫など)

「ふしの重なり合いを味わおう」

曲：「ラバースコンチェルト」

____月____日(____)

6年____組____番(名前)_____

めあて

楽器のひびき合いを味わいながら 合奏しよう

楽器を選んで、担当を決めよう

	前回		今回	
	選んだ楽器	担当	選んだ楽器	担当
リズム ア				
リズム イ				
リズム ウ				

演奏の仕方の工夫をしよう(めあてのために、箇所を、工夫する)

A 1

B

A 2

B

ポイントは3つ！

- 豊かな強弱
- 美しい音色
- ふさわしい速度

___月___日(___)

6年___組___番(名前)_____

本日の練習メニュー

1. 練習前の発表

2. 1回目のグループ練習(10分)

パーツ No.	1回目(10分)	
	内容	時間(分)

3. 1回目の練習の発表

4. 2回目の練習(5分)

パーツ No.	2回目(5分)	
	内容	時間(分)

5. 2回目の練習の発表

グループ練習の「パーツNo.」と「パーツの名前」
個人で
ペアまたはパートで
口歌練習(手や足で拍をとりながら)
区切り練習
通し練習
工夫(個人)
工夫(パート)
工夫(みんな)
先生に聞いてもらう
次回の課題

今日のふりかえり (よかったこと & 次への課題 など)

思わず発言したくなる「聴き方7パターン」

6年 組 番 (名前)

こんな発言タイムから脱出しよう!!

シーンとする。

みんな同じことを(それもつまらないことを)言う。

先生とみんなのつまらないやりとり

「よかったです。」「何が?」「音が」「何の?」「鉄琴の」「どうして?」...

カッチョ
ワリー!

聴き方名人になり、どんどん発言し合おう!!

点数をつけながら聴く

「私は今の演奏は90点だったと思います。そのわけは、楽器が増えて、たくさんの音が集まってにぎやかな感じが出ていたからです。あとは、恥ずかしがらずにリズムに乗ってやれば100点になると思います」

個人(誰か1人)をよく見て聴く

「ぼくは さんを見ていたけど、小節目から音をだんだん大きくしているところがよく工夫していると思いました。」

楽器をしぼって聴く

「 さんの大だいこの音は力強くて、響いてきました。場面場面で弱くするところもあればいいです。」

「君のリコーダーは、柔らかくてとてもきれいな音でした。」

音にこだわって聴く

「みんなでだんだん大きくなっていくところが、曲の雰囲気盛り上げていてよかったです。」

「リズム感がよくてとてもよかったです。全体のバランスからすると、小だいことタンバリンが強すぎる感じがしました。」

まねするとしたらどこか探しながら聴く

「 さんの鉄琴のえんそうが、強弱がよく表れていたの、私もまねしたいと思いました。」

自分だったらこうすると考えながら聴く

「私だったら、小節目から小節目までは、次へのつながりを考えると、音をだんだん小さくしていけばいいと思います。」

「リコーダーの音が小さくて、強弱もあまりありませんでした。もう少し息を入れるといいし、他のパートも少し小さくしてあげるといいかもしれません。」

自分もここをやってみたいと思いながら聴く

「小節目から小節目までのピアノがとってもきれいに響いていました。私たちのグループもそこはピアノでやってみたいと思いました。」

音楽の玉手箱...曲の様子や感じを言葉で表すときのヒントに使ってね!

1. 元気な
2. 力強い
3. 楽しい
4. 明るい
5. かがやかしい
6. はなやかな
7. しあわせな

8. やさしい
9. おちついた
10. 美しい
11. ゆったりとした
12. のどかな
13. おだやかな
14. どうどうとした

15. おかしい
16. はしゃいだ
17. ふわふわした
18. 悲しい
19. さびしい
20. くらい
21. おそろしい